

サン・ジョルジェ島：ファジャンス (fajãs) の島

について



写真: Rui Vieira

サン・ジョルジェ島：ファジャンス (fajãs) の島

サン・ジョルジェ島 (São Jorge)

は断崖、険しい岩山、そしてファジャンス

の島で、アソーレス諸島で最も緑豊かな島の1つです。また、自然と海に触れ合う休日を通すには最適な場所でもあります。

この島は長さ54km、最も幅の広い地点で6.9kmあり、**中央グループ**の1つです。さらに、ファイアル島とピコ島とともに形成する、いわゆる「**三角形の海域**」の三点の1つです。この2つの島からは18.5km離れています。

展望所からは、この島のほぼ全長を走る中央部の山脈

が、岩だらけのギザギザした、海にまで延びる典型的なファジャンスがところどころに見られる海岸線ときわめて対照的な景観を見せています。ファジャンス

とは、元々溶岩あるいは地滑りにより形成さ

れた小さな平原で、サン・ジョルジェ島に40以上存在します。そのため、この島は**ファジャンスの島**

というあだ名が付けられました

た。場合によっては、徒歩でのみ島に入ることができます

。したがって、**遊歩道**がこの島を発見する最良の方法の1つです。体調に合わせて経路を選び、専門家のガイドを利用しましょう。

その美味しい二枚貝で有名な**ファジャン・ダ・カルデイラ・デ・サント・クリスト** (Fajã da Caldeira do Santo

Cristo) から、完全に澄み切ったラグーンがある**ファジャン・デ・クブレス** (Fajã de

Cubres)、そして天然のプールがある**ファジャン・ド・オウヴィドール** (Fajã do Ouvidor)まで、サン・ジョルジェ島のツアーとは、自給自足農業のための小区画に分けられた土地、3つのガラスサッシ窓がある石造りの家、そして木々を海岸の平地にまで輸送するために使用された興味深い鋼線に感嘆の声を上げる旅なのです。

この見事な海岸の風景は、**ロザイスの小島** (Ilhéu dos Rosais)、そしてこの島の東端から少し外れたところにある**トポの小島** (Ilhéu do Topo)

がなければ、完成されなかったでしょう。トポの島には多くの海鳥が営巣し、アソーレス諸島の象徴的植物の優れた標本の原産地となっています。風景と一体となっているこれらの小島こそ、**自然保護区**として登録された理由です。

海拔1053メートルのこの島の中央の高原には、サン・ジョルジェ島の最高地点、**ピコ・ダ・エスペランサ** (Pico da Esperança)

があります。ここからは、ピコ島、グラシオーザ島、テルセイラ島、そしてファイアル島によりしっかり守られているこの島本体の忘れがたい景観を楽しめます。素晴らしい植物と科学的価値を持つ象徴的な草原の存在により3つの自然森林保護区が誕生し、それらの4つの頂上の名前が付けられたのは、この最高地点にある**ピコ・ド・アレエイロ** (Pico do Areiro)

から**ピコ・ダス・カルデイリニャス** (Pico das Caldeirinhas) まで、**ピコ・ダ・エスペランサ**、**ピコ・ド・カルヴァン** (Pico do

Carvão)、そしてモール・ペラド (Morro Pelado) を経由して広がる一帯です。

この島にはさまざまなビューポイントが点在しています。例えば、リベイラ・ド・アルメイダ (Ribeira do Almeida)、ファジャン・ダス・アルマス (Fajã das Almas)、ファジャン・ダス・ウルゼス (Fajã das Urzes)、ファジャン・ドス・クブレス (Fajã dos Cubres)、そしてノルテ・ペケノ (Norte Pequeno) などからは、圧倒されるほど美しい景色が広がっています。

・ジョルジェ島は、**カリエタ (Calheta)** および**ヴェラス (Velas)** という2つの自治区から構成されています。ヴィラ・ダス・ヴェラス (Velas) では、**ポルトオン・デ・マール (Portão do Mar)** (海の玄関) がその港に着岸する船の乗客を歓迎し、町の中心街へ送り出します。中心街では、**サン・ジョルジェ教区教会 (Igreja Matriz de São Jorge)** と、隣接する**宗教芸術博物館**、そして**公会堂**を見学できます。

ウルゼリーナ (Urzelina)

を通

り過ぎる

と、風景の中にポ

ツンと立ち、黒い岩でほとんど完全

に囲まれているような教会の塔に眼が留まります。それは、1808

年の火山噴火により埋まってしまった元の建物の唯一の残骸です

。 **マナダス (Manadas)**

では、アソーレス諸島のバロック様式建築のもっとも興味深い一例である、18世紀の**サンタ・バルバラ教会 (Igreja de Santa Bárbara)**

に是非ご注目ください。黒と白のファサードと豪華な内装が

見事です。**カリエタ (Calheta)**と**トポ (Topo)** は絵のように美しい港です。ここでは古い家々や、**サンタ・カタリーナ教会 (Igreja de Santa Catarina)**、**サン・ジョルジェ博物館 (Museu de São Jorge)**、**ノッサ・セニョーラ・ド・ロザリオ教会 (Igreja de Nossa Senhora do Rosário)** などの教会などがあります。それらにはすべて語られるべき物語があります。

二重のクローシェ・キルト

は今なお木製の織機で織られています。また、その職人がファジャン・ドス・ヴィメスで仕事をしている様子を見ることができます

。 **リベイラ・デ・ナボ (Ribeira de**

Nabo) の手工芸品協同組合は、「**サン・ジョルジェの毛布**」としても知られるこれらのキルトを展示しています。

絶対のお勧め

> ファジャン・ダ・カルデイラ・デ・サント・クリストの波でサーフィンする

> サン・ジョルジェ・チーズ、二枚貝、フジツボ、蟹、カザガイを味わう

祭り

他の島々と同様、エスピリト・サント祭 (Festas do Espírito Santo)

では人々の間にサン・ジョルジェ島の伝統が息づいており、5月と9月の間に開かれます。

この祭りは、島の守護聖人、聖ゲオルギオスに捧げられるものです。4月23日前後にヴェラス市内で開かれ、行進、コンサート、見本市などもあります。

ヴェラス (Velas) 文化ウィークにより、7月の間、サン・ジョルジェ島と他の「三角形の海域」は活気づきます。そのプログラムには、ヨット乗りイベントやコンサート、美食フェアなど、さまざまなアクティビティが盛り込まれています。さらに7月には、カリエタ町が民族にちなんだパレード、ポピュラー音楽、スポーツイベント、展示会などのイベントでいっぱいの7月フェスティバルを主催します。

この島には、さまざまなファジャンスで始まり、宗教への献身と一般的な祭りが同時に開かれるイベントである巡礼の旅もあります。

アクティビティ

サン・ジョルジェ島はスキューバ・ダイビング、ホエール・ウォッチング、釣り、セーリング、カヤックなどの海のアクティビティ

のための素晴らしい天然の条件が揃っています。しかし、最大のアトラクションの1つは、ファジャン・ダ・カルデイラ・デ・サント・クリスト (Fajã da Caldeira de Santo Cristo) の波です。それは、岩盤の上に形成される一定の常に立つ波のことで、サーフィンのための絶対に特別な波であるとプロとアマチュアの両方から認定されています。

乾燥した大地の上にあるこの島の安心感は、忘れられないウォーキングとマウンテン・バイクのツーリングを楽しむのに絶好の条件です。ウルゼリーナをベースキャンプとして、登山、キャニオニング、あるいはそれぞれ140mと120mの深さがあるモントーゾ (Montoso)、ボカス・ド・ファゴ (Bocas do Fogo) の洞窟探検も、アマチュアはもちろんエキスパートにもお勧めのチャレンジです。

美食

その独特な味で国際的にも知られているサン・ジョルジェ・チーズ (Queijo da Ilha de São Jorge) は、おそらく、アソーレス諸島で最も有名な食品の1つでしょう。

ベイラにあるサンジョルジェ島農業および乳製品協同組合は、この島で生産されるチーズの熟成、等級付け、および認定手続きを行うセンターです。原産地指定の証明書は、材料と伝統的な手法という点において条件を満たすチーズにのみ与えられます。牛乳から作られるチーズの生産は、トポへのフラマン人入植者の影響を受けた頃に遡ると考えられています。サン・ジョルジェ・チーズは、セミソフトでもハードタイプでも、後味が若干ピリっとしますが、車輪のような形状で、重量が7~12キロもあり、通常は楔形に切り分けられます。

自然保護区とカルデイラ・デ・サント・クリストの生態系地区 (Reserva Natural e Área Ecológica Especial da Caldeira de Santo Cristo) 内に同時に誕生し、はぐくまれた二枚貝は、もう一つのサン・ジョルジェ島の驚くべき食材です。

一部のファジャンスの微気候により、ヨーロッパでは稀なコーヒー園などの特別な農作物の栽培が可能になりました。ファジャン・ドス・ヴィメス (Fajã dos Vimes) では、現地で収穫された豆から作られる、強烈なアロマとフレーバーを持つコーヒーを楽しむことができます。それは、シナモン・ブランデーのように、この島のスイーツの飲み物にぴったりです。コスコロインシュ(ウエハース)、ロスキリヤス(プレッツェル)、カードケーキは伝統的なレシピで作られています。

行き方

- 「Sata-Air Açores」社の飛行機を利用。通常、テルセイラ島のポンタ・デルガダ (Ponta Delgada) とラジェス (Lajes) 空港から、サン・ジョルジェ島まで毎日運行しています。テルセイラ島からの平均飛行時間は、30分です。詳細については、下記のウェブサイトをご覧ください。 www.sata.pt

- 海上からは、他の島から定期船が運航されています。ファイアル島 (サン・ロケ・ド・ピコ (São Roque do Pico) とマダレーナ (Madalena) に寄港して1時間15分)、ピコ島 (30分)、テルセイラ島 (2時間30分)。所要時間の長さは、利用する船会社により異なります。詳細については、下記のウェブサイトをご覧ください。 www.atlanticoline.pt

お役立ち情報

- サンジョルジェ島農業および乳製品協同組合のサン・ジョルジェ・チーズについて学習する
- www.portais.ws/uniqueijo
- www.lactacores.pt